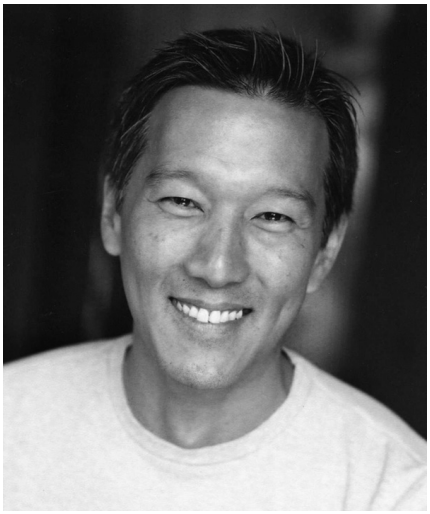
JSS便り

ジャパニーズ・ソーシャル・サービスの公式ニュースレター

会長のメッセージ



デービッド・池田

JSSにとって、この2、3ヶ月は大変忙しいものでした。

プログラム委員長である傳法清の、献身的、かつ非常に優秀なリーダーシップの下、JSSは提供するプログラム数を増やすことができました。現在は折り紙療法ワークショップや、お母さんと子どもたちのヨガ教室も行っています。JSSでは子供たちや社会的弱者の方々と接する機会の多いボランティアには、警察による身元検査も行っています。

ここ3年間で、私たちのプログラムに登録・参加頂いている方々の数は飛躍的に増えました。今年の終わりには、参加者の数は3,000名を超えるだろうと見込んでおります。先週だけでも、折り紙療法ワークショップとキャラバン・メイト養成研修を合わせて80名を超える方々に参加していただきました。

増大した仕事量に対応するために、JSSは現在の常勤カウンセラーを手助けするパートタイムのソーシャルワーカーを、新たに採用しました。私たちのカウンセラーの統計によると、JSSはクライアントの連絡先数がここ2年で30パーセントも増加しております。

実際には常勤のカウンセラーが必要なのですが、財政的問題もあり、パートタイムの採用とせざるを得ませんでした。JSSを長く支援してくださってる方々には、私たちの新しいカウンセラー、三船純子の名前を覚えていらっしゃる方もいるかもしれません。彼女が数年前JSSにいた時は、唯一のカウンセラーでした。彼女がJSSファミリーに戻ってこれた事は、大変歓迎すべき、最良の選択でした。 三船カウンセラーが土曜日に働いてくれるおかげで、JSSは現在、週に6日営業しています。

また、もし機会がございましたら、是非私たちの新しいオンライン/電子ニュースレター「JSS便り」を開けてみてください。この新しい取り組みは役員である山本順子の発案で、主に容子・ギャロウェイの非常に熱意のあるリーダーシップのもと、デザイナーのアンソニー・リリフェルトとウェブマスターの洋子・レイノルズ、その他のボランティアの方々の助けを借りて制作しています。

私はまだ新しい役職である会長として、ほんの小さな一歩を歩み始めたにすぎません。ですから同僚やスタッフやボランティアの皆さんの助けに頼らなければなりません。

JSSが日系のコミュニティーに、よりよいサービスを提供していくために、何かご提案がございましたら、我々のフェイスブックやオンライン・ニュースレター、ホームページのリンクをチェックしていただければ幸いです。ただ単に気さくに挨拶をしてくださるだけでも大歓迎です。

素晴らしい休暇をお過ごしください。またお会いしましょう！

JSSチームが、トロントチャレンジで
ファンドレイジングをしました。

トロントチャレンジ

2013年6月9日、トーク須山氏は、彼と彼の友人達や他のサポーター達が、トロントチャレンジで集金した1万4千ドルを JSSに寄付されました。

今年で22年目となるトロントチャレンジは、誰もが参加する事が出来、参加者の希望するトロント市周辺のシニアをサポートする、様々な非営利団体へ寄付する事が出来ます。 当日の種目は5kmのランニングと、5kmと 1kmの歩行用の3種類に分かれています。

ミッツ伊藤氏とトーク須山氏

今年の”朝のお散歩”は、からっと晴れた、とても気持ちよい日でした。トーク須山氏と友人たち、その中でもトーク氏と長年の親友であるミッツ伊藤氏は、毎年、日系カナダ人コミュニティの、多岐に渡る情報網を通じて、JSSの為に寄付金の約束を取り付け、多額の基金を募られています。

JSSはトーク須山氏が、貴重なファンドレイザーとして活躍される一方で、又JSSの役員としても活動頂いていることを感謝します。そして、当日1kmや5kmを歩いて下さったり、5kmのランニングに参加くださった皆様、本当にありがとうございました。

今年のトロントチャレンジに参加した後、カメラの前でポーズをとるJSSチームです。

高齢化へ備えての準備 ー 委任権・代理権

公家孝典

日本やカナダを含む多くの先進諸国において、人口の高齢化が問題になっていますが、GTAの日系コミュニティーも例外ではないようです。この人口の高齢化は、JSSのシニアのクライアント数の増加や、持ち込まれる相談内容にも色濃く反映されるようになりました。相談内容は、高齢化に伴う身体的な疾患および認知症やその他の精神疾患などクリニカルな分野の相談や、また財産の管理および遺書の作成などクリニカルでない分野の相談など多岐にわたります。

認知症の主な症状は、記憶や認知に関する機能が低下することですが、その様態や進行速度はさまざまです。これまでも、JSSはGTAの認知症を抱える“日本語を話す高齢者”やその家族、日系コミュニティーの人口の高齢化に係り、もう一つ気になるエリアが、“「パワー・オブ・アトーニー（Power of Attorney = POA）＝委任権・代理権」の任命”と“「ウィル（Will）＝遺言」の作成”に係るものです。POAにしてもWill にしても、どちらも（特にPOAは、）日本においては一般的でなくなじみの薄いものなので、日系コミュニティーのなかには人生の半分以上をカナダで過ごしてきている方々でさえも、POAおよびWillの準備をされておられない方がたくさんいらっしゃいます。もちろんこれらは、高齢者の方だけでなく、すべての成人がきちんと準備しておくに越したことがないものですが、これらが必要な状況になる“確率”で考えると、やはり高齢な方ほど準備しておいたほうがいいものであるといえます。

Will＝遺言に関しては、日本において、一般人の実生活にはあまり関係のないものであっても、テレビドラマや推理小説などにはよく登場するものなので説明は必要ないかと思いますが、POA＝委任権・代理権についてはよく知らない方もいるかと思うので簡単な説明をさせていただきます。

オンタリオの法務省の説明（参照：http://www.attorneygeneral.jus.gov.on.ca/english/family/pgt/livingwillqa.pdf）によると、POA には① Continuing Power of Attorney for Property（CPOA）② Noncontinuing Power of Attorney for Property ③ Power of Attorney for Personal Care（POAPC）の 3 種類があり、私が上で

公家孝典（JSS カウンセラー）

挙げている“POA”は ③ の Power of Attorney for Personal Care を指すものです。これは、平たく言えば、ある人が事故や病気で脳の機能などがダメージを受け、認知レベルが低下し、正常な思考・判断ができなくなったときに、そ

（次のページへ）

の“ある人”に代わって“ある人”に係る財政的な事項や医療に関する事項などに関する意思決定を任せられる人を指します。

ある人が亡くなったり、事故や病気で意識不明の生きてはいても正常な思考ができない状況になった時に、その“ある人”にきちんとした婚姻関係にある配偶者がいる場合には、Will または POA が無くても、“ある人”に係る医療行為などに関する決定権や財産の相続権は、それほど問題なくその配偶者に移行するようです。しかし、配偶者がおらず、Willも POA の任命もない場合には、い

（次のページへ）

JSS Annual Holiday Drive Appeal

年末恒例のホリデードライブ

今年もJSSは、トロントに住んでいる日本人や日系
カナダ人の誰もが少しでも楽しく歳末を過ごせるようホリデードライブを
行いますので、コミュニティーの皆さまのご協力をお願いします。
賞味期限内で日持ちがする食べ物、おもちゃや防寒衣料品などを、
市内のいくつかの組織に置かせていただいているドネーション箱に12月中
旬までにお寄せください。よいお年をお迎えになりますように。

ジャパニーズ・ソーシャル・サービス

ろいろと面倒なプロセスが必要になることも多いようです。

もちろん、自分がボケてしまったときのことや死んだときのことを考えるのは、あまり愉快なことではありませんし、POA や Will を準備するには多少の労力と多少のお金がかかるかもしれません。しかしながら、家族、及び弁護士やファイナンシャル・プランナーときちんと相談し、POAとWillを準備しておけば、それを準備していなかったときに起こりうる多大なる面倒や問題を避けることができます。備えあれば憂いなし”です。

JSS恒例のボランティア感謝会大成功

毎年恒例のボランティア感謝会は、11月10日の日曜日、50人以上のボランティアの方々とその関係者が集まり、JCCCのHosaki ルームで開かれました。デービッド・池田会長が、この一年間献身的にJSSの為に働いて下さったボランティアの皆様に感謝の言葉を述べると共に、傳法プログラム委員長が皆の一年間のボランティア活動の総合時間が5,000時間を超えた事を表明し、これは常勤の従業員を3名雇った事に相当するとさらに感謝の意を述べました。

当日の料理は、JSSが長年のサポーターであり、ボランティアでもある、タック吉田氏に依頼をし、テーブルには焼き鯖やおでん,串かつなど、沢山の料理が並び、皆舌鼓をして楽しみました。食事の後は、理事が用意した沢山のプレゼントを、ボランティアの皆様が抽選で当てて、喜んだり、驚いたり、終始和やかな雰囲気の中で、ボランティア同士も交流をはかって、時間が経つのを忘れるほどでした。

JSSのボランティアの皆様、本当にありがとうございました。今年の感謝会に残念ながらご参加できなかったボランティアの皆様が、来年は御参加されますことを期待しております。

JSSでのボランティア活動にご興味のおありの方は、電話番号416-385-9200 または、email general@jss.ca にて、題の所にボランティアと明記してご連絡下さい。

さらに、色々な情報がJSSのウェブ・サイトでご覧になれます。
http://www.jss.ca
フェースブックは、(Japanese Social Services)です。
オンラインでの、新しいJSS便りも合わせてご覧下さい。
http://jss.ca/blog/

色々な情報が盛りだくさんのブログ「JSS便り」は、以下のJSSウェブサイトでもご覧頂けます。

経験豊富なメンバーやサポーターの方々、関心や問題意識のある方々などからのご意見や様々な情報をお伝えしています。JSSのメンバーの方々のご意見や関心事が、如何にコミュニティー全般のニーズや要望に合わせたサービスを提供出来るかを決める為の要にもなります。皆の意見を共有出来る場とする為にも、皆様よりのご意見やご感想をお待ちしております。

www.jss.ca/blog

Japanese Social Services. J.C.C.C., 2nd Floor. 6 Garamond Court, Toronto, Ontario M3C 1Z5
TEL: 416-385-9200 FAX: 416-385-7124 E-mail: general.jss@gmail.com Website: www.jss.ca